



がん検診を受けていますか？

～症状がなくても1年に1度の大事なチェック～

今月の担当

保健師
小松 由季

地域福祉センター健康推進係
(☎52-3333)

■がんは身近な病気

国民の2人に1人はがんにかかり、3人に1人はがんで亡くなっています。がん統計によると、生涯になんらかのがんにかかる割合は、男性55.7%、女性41.3%と決して低くありません。がんは「特別な病気」ではなく、私たちの最も身近な病気の一つになりました。がんをどれだけ早く発見し、どれだけ早く治療していくかが大切です。

■初期のがんは無症状。がん検診で早期発見

次の図は、がん統計でのがんによる死亡数の順位です。男女の順位は違って1～3位を占めているのが胃、肺、大腸がんの3つのがんで

がんによる死亡数

	男 性	女 性
1位	肺がん	大腸がん
2位	胃がん	肺がん
3位	大腸がん	胃がん

2013 国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センターHPより

これらの胃、肺、大腸がんは、検診を受けることで、確実に死亡リスクを下げるができます。特に、大腸がん検査については、60%もの死亡リスクを下げると言われています。

■定期的な検診が大切

がんの成長スピードは一定ではなく、見つけやすいタイミングがあるため、1年前にはなかったがんが、その翌年に見つかるということもあります。見つけやすい時期に早期に見つけ、治療を行うためには、1度受けたら安心…と思わずに定期的な検診を受けることが大切です。置戸町では、がん検診(胃、肺、大腸、前立腺)は「特定健診」(血液検査、眼底検査、心電図など)と一緒に受けることができます。一年に一度だけでも自分の体の中をチェックしてみましょう。通院している方も、普段してない検査がありますので、検診を受けることをお勧めします。

特定健診・がん検診を随時申し込み受付中です。
地域福祉センター健康推進係 (☎52-3333)

■ご出生おめでとうございます

- 水野 将貴 男児 真碧(まお) 新光 12/11
- 山田 耕平 男児 綺音(きおと)栄第一 12/24

■ご結婚おめでとうございます

- 小野寺和也・伊藤 茜 緑栄 1/27

■お悔やみ申し上げます

- 井筒 ミチ 94歳 緑清園 12/12
- 森脇八重金 85歳 豊住 12/13
- 相澤 モト 108歳 新光 12/13
- 杉澤 律子 88歳 常楽園 12/17
- 伊東ふさ恵 95歳 緑清園 12/24
- 蓬田 サヨ 93歳 緑清園 12/29
- 中尾 ス工 86歳 川南 12/31
- 鈴木 衛 79歳 新光 1/1
- 廣中 花子 99歳 常楽園 1/6
- 米本 敬巖 74歳 西町 1/26
- 菅野 巴 99歳 若松 1/27

人の動き

- 世帯数 1,495 世帯 (-3世帯)
- 人 □ 3,073 人 (-8人)
- 男1,435人(±0人) 女1,638人(-8人)

平成28年1月31日現在()内は12月末比

※今年から外国人登録者を含んだ数に変更しています。

編集後記

○ふるさと置戸会の集いに出席したAさん。東京で地下鉄に乗ると、席に座っていた若い女性が席を立ち「どうぞ」と言いました。Aさんは何があったんだと思いましたが、席の上にはお年寄り優先席の表示が。まだお年寄りとは思っていない60代のAさんはその日が誕生日ということもあり複雑な思いで譲られた優先席に座りました。 (岡)